

日本共産党 区議会議員



石田 ちひろ

日本共産党品川議会控室 TEL 03-5742-6818
すずらん通り事務所 TEL 03-5462-2133

2014年5月11日
ちひろニュースNo.46

特養ホームもっと増設を！

待機者611人 申請者の86%が入れない

「まちにどんどんできるのは有料の老人ホームばかり…」ひと月の利用料は20〜30万円。低所得の年金暮らしでも安心して入れる特養ホームをもっとつくってほしいと、高齢者だけでなく、高齢者を持つ家族にとっても切実な願いです。

みなさんとの共同で4ヶ所増設を実現

「特養ホームはもうつくらない」と区が方針をたててから11年間、住民運動とともに、粘り強い取り組みを続けてきました。



請願署名運動24回・署名総数4万1186人分。共産党は議会論戦で、

相談を受けた切実な実態を訴え、23区調査で最低レベルの特養ホーム整備率も告発してきました。こうした取り組みが「もうつくらない」とする区の方針を切り替えさせ、11年ぶりに八潮に特養ホームが建設されました。さらに今年、杜松小学校跡に29床、2016年に平塚橋会館跡に100床、2017年に上大崎みやこ荘跡に102床、合計231床の特養ホーム増設が実現するまでに至りました。

しかし、待機者は現在611人。

231床ではとても足りません。

品川区には土地もお金もある

「増設計画をつくれ」との共産党の提案に区は、「3ヶ所完成後考える」と計画策定を拒んでいます。例えば、100人規模の特養ホームは、建設費約20億円、必要な用地は3000㎡と言われています。

品川区には、区民サービスを削ったため込んだ基金が毎年増え続け、今やなんと712億円。用地も、旧荏原四中跡地や旧第一日野小学校跡地、校跡地、都有地、国有地など活用可能な土地は東京ドーム一個分以上があります。



区議団で利用可能な土地を調査。
(林試の森に隣接する国有地)

特養ホーム入所状況

左表は、平成25年3月1日～8月31日までに申し込み、平成26年2月末までの入所状況。申し込んだ人の内、入れたのはわずか14%、86%の人は入れません。

在宅ではもう限界という高齢の方や家族の方からの入所申請が年々増えています。「さらなる増設を」と、地域からの声も大きくなっています。

介護度	申込人数	入れた人数と割合	入れなかった数
要介護5	84	16(19%)	68
要介護4	154	29(19%)	125
要介護3	186	31(17%)	155
要介護2	90	6(7%)	84
要介護1	80	0	80
合計	594	82(14%)	512(86%)

世論と運動でさらなる増設を

八潮を含めて4ヶ所の特養ホームの増設は、先にものべた、長年の区民と共産党の運動の大きな成果です。この経験を生かし、「国民年金でも入れる特養ホームのさらなる増設を」と世論と運動を広げます。



年齢	申込人数	入れた人数と割合	入れなかった数
100歳以上	3	1(33%)	2
90代	143	34(24%)	109
80代	280	39(14%)	241
70代	146	7(5%)	139
60代	22	1(5%)	21
合計	594	82(14%)	512(86%)

石田ちひろ地域大バザーのご案内 5月25日(日)



すずらん通り商店街・浅間台公園にて11:00～

復興支援バザーです。家で眠っている物品はありませんか？是非ご提供ください。衣類は新品かクリーニング済みのもの、本やCDなどはお断りしています。

無料 法律相談

とき：5月23日(金)

時間：18:00～

場所：石田ちひろ事務所



日本共産党品川地区委員会主催